

# 春闘・組織拡大・総選挙

## 全道支部・部会代表者会議×団結旗びらき 道本部結成 20年の年にふさわしく

1月11日、「全道支部・部会代表者会議」を開いて、2019年秋のたたかひの到達点を確認するとともに、2020年春闘・春の組織拡大月間をはじめとする新しい年のたたかひについて意思統一しました。会議には道本部執行部をはじめ各業種部会役員をふくめて9支部と北海道鉄道本部から17人が参加しました。また、この会議のあと、道本部の「2020年団結旗びらき」をおこない、道本部の森国委員長は「建交労道本部結成から20年となる年にふさわしく、要求を前進させ、組織を拡大して、総選挙で安倍政権を打倒するためにがんばろう」とあいさつしました。

全道支部・部会代表者会議では、宮澤書記長が9月以降の組織拡大や燃料手当・年末一時金闘争、春闘アンケート、鉄路を守るとりくみとじん肺闘争（トンネル・アスベスト）など秋のとりくみの到達点を報告し、職場からの要求提出と制度政策要求、各業種部会のとりくみの重点と春の組織拡大月間の目標、「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」をはじめとする国民的課題でのとりくみなど2020年春闘方針案を提案しました。討論では、各支部・職場・業種のとりくみについて報告されました。

「旗びらき」には、札幌合同支部や北海道鉄道本部の仲間も加わって30人あまりが参加しました。道労連の尾張聡副議長、日本共産党の紙智子参議院議員、畠山和也前衆議院議員、宮川潤道議会議員、村上仁札幌市議会議員団長、全動労弁護団の内田信也弁護士、佐藤哲之弁護士から激励のあいさつを受け、各業種・支部の参加者が新しい年の決意と抱負を述べて交流しました。

## 函館支部が「健康相談会」

### 道南の9会場で13人からの相談

函館支部は1月6～8日に道南の9会場（假法華・恵山・戸井・福島・上ノ国・江差・せたな・森・八雲）で「労災・健康相談会」を開きました。組合事務所に直接来た人をふくめて13人が相談に訪れ、このうち10人は医療機関の検診を予約しました。相談内容は、アスベスト疾患・1件、じん肺・5件、振動障害・8件、騒音性難聴・7件で、このうち2人はじん肺・振動障害・難聴の3つの検査を受ける予定です。相談者の職種は、トンネル・7人、土工・4人、大工・1人、農業1人で、ほとんどが新聞の折り込みチラシを見て相談会に来た人でした。

函館支部ではチラシ約2万3千枚を新聞に折り込み、開催記事を「北海道新聞」に掲載してもらいました。また、医療機関にポスターを掲示してもらいました。江差の相談会場には「函館新聞」の記者が取材に来ました。

函館支部はこのあと2月（6日・7日・9日）には函館市と北斗市の5会場で「相談会」を予定しています。2月9日はアスベスト弁護団とともに「アスベスト被害相談会」も同時に開催する予定です。新聞折り込みチラシとともに、ダイレクトメール、ケーブルテレビやNHKでの紹介や自治体の広報誌への掲載などの準備をすすめています。